

信州大学サポーターズクラブメルマガ第84号 2020年8月31日

信州大学サポーターズクラブ

メルマガジン 第84号

信州大学サポーターズクラブ事務局

2020年8月31日

-----毎月月末に配信しています-----

【 I N D E X 】

シンダイ百科

信大からのお知らせ

信州の風景

■■■■■■■■■■【 シンダイ百科 】■■■■■■■■■■

今月は2つのサークルをご紹介します。

まずは

「信州大学農学部村づくり応援隊」

をご紹介します！

「信州大学農学部村づくり応援隊」は、伊那キャンパスのある南箕輪村にて『地域に密着した活動の支援』や『メンバー自身が地域環境について考え、親しむこと』を目的に活動を行っています。今回はサークル代表の農学部新谷さんにお話を伺いました。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

続いて

「ボヘミアン珈琲」

をご紹介します！

「ボヘミアン珈琲」は松本市や長野県内各地のイベント

で『一杯のコーヒーから生まれるコミュニティ』をコンセプトに様々な活動しています。今回は経法学部3年の浅川さんにお話を伺いました。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

■■■■■■■■【 信大からのお知らせ 】■■■■■■■■

市民開放授業【後期】中止のお知らせ

信州大学の市民開放授業では、学生が受講する通常授業を「市民開放授業」として一般の市民の皆様に開放しています。しかし今年の後期授業は前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び感染予防の観点から中止することとなりました。

○詳細はこちらから

http://www.shinshu-u.ac.jp/general/extension-courses/news/2020/08/post_35.html

■■■■■■■■■■【 信州の景色 】■■■■■■■■■■

『セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)』

松本市の夏の目玉イベントである『セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)』も今年は中止となってしまう、寂しい限りです。これまで松本市を拠点として、長野県の各地で、オペラやコンサート、若手音楽家への音楽塾開催など多くの演目やイベントが開催されました。今回は名称変更して1回目(2015年)の様子をお伝えします。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

メルマガのバックナンバーはこちらから

<http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/mail/>

『信州大学サポーターズクラブメールマガジン』

編集・発行/信州大学サポーターズクラブ事務局

長野県松本市旭 3-1-1

【 Mail 】 koyukai@shinshu-u.ac.jp

【 H P 】 <http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/>

【 F B 】 <https://www.facebook.com/shindai.koyukai>

2020.8.31

「」



信州大学サポーターズクラブ【シンダイ百科】第 84 号

Q)信州大学農学部村づくり応援隊はどんな団体ですか？

A)農業集落の応援などを行うサークルの全国的なコミュニティである『サークルネット』に所属する形で存在していた非公認組織を公認サークルとしました。今年度は4年生1名、3年生4名、2年生7名の計12人で活動しています。農学部サークルで所属は基本2年生からです。活動の目的は『地域に密着した活動の支援』と『メンバー自身が地域環境について考え、親しむこと』です。



マルチ張り作業と畑の小石除去作業の様子

Q)主な活動内容を教えてください。

A)定期的な活動として、週2回ほど近くの畑地を借りた畑活動を行っています。植える野菜は年度によって様々で、現在27種類を育てています。サークル長の私が植物そのものに興味があるので、今年度は少し多めです。植える野菜は基本的には私が決めて、春の畑の整備作業の時にメンバーと何を植えたいか話しながら作業して決めました。今年の白ナスの品種(ホワイトベル)やコリアンダー、シュンギク、サトイモ、キュウリなどは、その話し合いの意見を取り入れて植えることにしたものです。長雨で大失敗しましたがメロンにも挑戦しました。今年度は収穫した野菜はとりあえずメンバーで山分けということにしています。大柴高原の直売所に生産者登録をしているので、そこに野菜を卸すことも可能なのですが、今年の記録的な長雨で収穫量が見込めないため保留としています。



活動拠点の畑の様子

また、例年参加している活動に、地方自治体(南箕輪村)主催のイベント『まっくんの田んぼ体験隊』や『信州あそびの杜学園の秘密基地プロジェクト』などのボランティア活動のお手伝いがあります。前者は稲作の体験イベントで、後者はバーベキューやキャンプ、そのほか自然に親しむ遊びを通しての関りを目的としている活動です。これらのボランティア活動への協力が以前よりの活動であるため、表彰など具体的な実績はありませんが、キャンパスのある南箕輪村の地域の活動に貢献していると思います。



トマトとナスの畝の様子

Q)今後力を入れていきたい活動はありますか？

A)現状を鑑みて、今年度は畑活動のみの予定で、Twitter での活動報告の発信を行っています。 自分は畑活動に注力したいと思い所属したため、地域の農業について知る・考える活動を行っていきたいと考えていました。去年は地域の農家の畑に直接お伺いして、実際に行っていることがどのようなことであるかを聞く機会をいただきました。今後もそのような活動を取り入れて、農業の実際に触れられる団体でありたいと思います。

予測がつかない自然を相手に日々活動し、地元農家さんとやりとりをしたり、地元主催のイベント等のボランティア活動なども行う。サークルの目的を着実に実践されている様子がよく分かりました。この状況に負けず頑張って活動継続してください。ありがとうございました。

信州大学サポーターズクラブ【シンダイ百科】第84号_2

Q)ボヘミアン珈琲はどんな団体ですか？

A)2019年6月、大学周辺に気軽に集まれる場所がないことに課題を感じた有志が集まり設立。「一杯のコーヒーから生まれるコミュニティ」をコンセプトに長野県内各地でコーヒーを振る舞っています。コーヒーの振る舞いだけでなく、空き家活用、選挙啓発など、メンバー自らがコミュニティの一員として「地域で実現したいこと」について、コーヒーを絡めながら企画、実行しています。



2020年7月 あさま湯芽市での活動より

Q)主な活動を教えてください

A)
・毎週日曜日朝8時より、浅間温泉朝市(あさま湯芽市)にてコーヒー販売
・毎週水曜日の昼休み、松本キャンパスの食堂前広場でコーヒー振る舞い(コロナで休止中)
・不定期で、長野県内各地のイベント(情報発信講座や辰野町トビチマーケットなど)でコーヒー振る舞い
・不定期で、メンバー企画によるイベント(浅間温泉クリスマスライブや、バレンタインカフェなど)などです。



2019年10月 大学生協前広場でのコーヒーの振る舞い

Q)今後力を入れていきたい活動を教えてください

A)大規模に人を集める活動はいまだ難しい状況ではありますが、一杯の珈琲を通して人と人、そして人と地域を結んでいく活動を行います。

直近の目標は、現在出店している朝市「あさま湯芽市」に学生を含め、様々な世代の人を呼び込むことです。世代間の交流を通して、浅間温泉をさらににぎやかにしていきたいです。大学生として、地域活性化の手助けとなる活動を行っていきます。

また、新たに環境問題への対策にも取り組んでいきたいと思っています。「今、私たちができること」は何かを考え、実現のための議論を重ねていきたいです。



2020年7月 あさま湯芽市にて新品の看板お披露目の記念撮影

Q)その他メッセージやコメントがあればお願いします

A)ボヘミアン珈琲は、人と人との新しいつながり、あたらしいコミュニティを作っていきます。ぜひ、あさま湯芽市にお越しください！おいしい野菜とコーヒーが待っています！ Facebook や Instagram 随時更新しているので、ご覧になってみてください。浅間温泉や出店イベント情報などどんどんお送りします！

地元の方々とのふれあいや新しい出会いは何より次への活力になると思います。こうしたふれあいを通して、ボヘミアン珈琲さんの活躍の場が更に広がっていくことを楽しみにしています。

ありがとうございました。



2015年は、それまでの「サイトウ・キネンフェスティバル」から「セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)」へと名称変更となった記念すべき1回目の公演でした。写真は8/23の吹奏楽パレードのものです。松本市内外の小・中学校、高校、大学、一般の吹奏楽クラブ等が参加したパレードが開催され、信州大学吹奏楽部も参加しました。



パレードは松本市街地から松本城公園、松本城本丸庭園まで練り歩き、最終地点である本丸庭園ではパレードの参加者による合同演奏会も開催されました。幅広い年齢層の奏者の方々が各パートに分かれて演奏開始を待つ様は壮観の一言です。

今夏は新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止の決断を余儀なくされています。参加者の安全安心のためには致し方ないことですが、来年こそは市街地パレードや迫力あるオーケストラ演奏、オペラ観劇を多くの人が間近で楽しめるようになってほしいものですね。